

一般財団法人 国際情報化協力センター（以下 CICC）は、ミャンマートップレベルの IT 系大学からの要請に基づき、日系の IT 企業へのインターンシップ支援を今年度も継続して実施し、ミャンマーとの IT 人材分野での協力を促進して参ります。

永年にわたるミャンマーへの IT 人材育成支援等により、ミャンマーコンピュータ協会(MCF)やミャンマー IT 系大学から多大な信頼を得ている CICC は、以下の内容でインターン生受け入れ支援を致します。ミャンマーとの IT 分野での協力を資する本件の趣旨に賛同し、インターン生の受け入れを検討して頂ける IT 関連企業の皆様からの御連絡をお待ちしております。

【来年度(2018-2019 年度)インターンシップ支援計画概要】

1. インターン生： 5 年制のヤンゴン情報技術大学(UIT)、ヤンゴンコンピュータ大学(UCSY)、マンダレーコンピュータ大学(UCSM)、工科大学ヤタナポーンサイバーシティ(UTYCC)、及び 6 年制の 西ヤンゴン工科大学(WYTU) IT 学部を卒業予定の学生で、卒業後は日系企業での勤務を強く希望し、日本語の勉強を行う意思を持ち、且つ学長からの推薦を得た者。なお、新設校である 5 年制のミャンマー情報技術大学(MIIT)については、4 年生の学生を対象。
2. 受け入れ企業： 賛助会員企業等
(受け入れ先の所在地は日本、ミャンマー、他のアセアン各国を問わない)
3. 受け入れ期間：(1) UIT の学生：約 4 ヶ月間 (2019 年 5 月から 8 月末)
(2) UCSY の学生：約 3 ヶ月間 (2019 年 5 月から 7 月末)
(3) WYTU の学生：最低約 2 ヶ月間 (2019 年 6 月から 10 月の間)
(4) UCSM の学生：約 3 ヶ月間 (2019 年 5 月から 7 月末)
(5) UTYCC の学生：約 2 ヶ月間 (2019 年 5 月から 10 月の間)
(6) MIIT の学生 (4 年生)：約 1 ヶ月間 (2019 年 5 月から 10 月の間)
4. マッチング： 企業からの受け入れ条件を踏まえ、大学側で候補者を絞り込み、企業が現地での対面式面接を行うか又はオンライン面接を行う。但し、事務局による代行面接も可。(2018 年 11 月から 2019 年 2 月を予定)
5. CICC 支援内容：

CICC の標準支援内容		備考ー【】内は有償 (任意)
全行程管理	・全行程の管理、調整	・本インターンシップの全行程において企業、大学、学生間の調整を図る
企業紹介	・大学に対し、企業パンフレット等により企業を紹介	【企業の紹介パンフレット(英語版)の作成】
企業の大学訪問	・訪問調整、アポ取り	【航空賃、タクシー代、ホテル代等の出張経費の負担】
インターン生選抜	・面接日時、場所の手配 (オンライン面接の手配も可) ・面接時の通訳 ・面接代行	・企業が現地での対面式面接を行うか又はオンライン面接を行う際にその手配を行う ・必要に応じ面接当日には日-緬の通訳を用意 ・必要に応じ企業に代わり、代行面接を行う
3 者間契約	・3 者間契約締結支援	・3 者とは、企業、大学、学生を指し、本契約は渡航 VISA の必要書類となる。
事前研修	・日本語研修 ・ビジネスマナー研修	・インターン前は放課後に各大学の教室を借り、リモートインターンシップ (注 1) 期間中は、ヤンゴンの日本語学校

		にて日本語の集合教育を行う
インターン生 渡航支援	・VISA 申請書類作成支援 ・航空券購入代行	・VISA 申請のため、企業、大学、学生のそれぞれが準備すべき書類を準備し、在ミャンマー日本国大使館にて申請する
リモートインターン 研修支援	・リモートインターン請負 企業を紹介	【リモートインターン請負企業とインターン生受け入れ企業間の業務委託契約に基づく、リモートインターンの実施】
研修成果発表	・インターン成果発表指導	・成果発表が単位取得の要件となっている。

6. 企業側負担（対学生）：

	ミャンマー以外（日本、他のアセアン各国） での研修期間	ミャンマー国内での研修期間
UIT の学生向け	・渡航費(保険付き) ・滞在費 ・生活費(額は別途、個別に設定)の支給が必要。これには日々の交通費、食費、その他が含まれる。	・生活費(最低月 15 万 MMK)の支給が必要。これには日々の交通費、食費、その他が含まれる。
UCSY の学生向け		・日々の交通費、食費、日当の中から支給可能な項目を選択。各項目の額は企業側で設定。(注 2)
WYTU、UCSM、 UTYCC の学生向け		・日当の支給が必要。額は企業側で設定。(注 2)

* MIIT のインターンシップに係る企業負担については調査中。

(注 1)：リモートインターンシップ：インターン生の日本での滞在費用等の企業側の負担を軽減するため、3～4 ヶ月に及ぶインターンシップの一部の期間、各企業側から与えられた課題を CICC が契約したミャンマーのリモートインターンシップ請負企業の施設で行うこと

(注 2)：UIT 以外の学生を UIT の学生と同時に受け入れる場合、UIT の学生と同じ生活費を支給すること。

UIT : ヤンゴン情報技術大学、University of Information Technology
 UTYCC : 工科大学ヤタナポーンサイバーシティ、University of Technology(Yatanarpon Cyber City)
 UCSY : ヤンゴンコンピュータ大学、University of Computer Studies, Yangon
 WYTU : 西ヤンゴン工科大学、West Yangon Technological University
 UCSM : マンダレーコンピュータ大学、University of Computer Studies, Mandalay
 MIIT : ミャンマー情報技術大学、Myanmar Institute of Information Technology

【UIT のインターンシップ進捗状況】

		2016-2017 年度	2017-2018 年度
受け入れ企業数（インターン生数）		32 社（169 名）	37 社（147 名）
内日系企業数（学生数）		8 社（28 名）	7 社（16 名）
インターン 拠点	ヤンゴン又はシンガポール	4 社（19 名）	2 社（4 名）
	日本	3 社（6 名）	2 社（3 名）
	リモートインターン（ヤンゴン）	1 社（3 名）	3 社（9 名）

【その他】

- ・ インターンシップはあくまでも教育の一環であり、受入先での雇用を約束するものではありません。
- ・ インターンシップ修了後の採用に係るフォローアップ活動に関しては、実績のある企業をご紹介します。別途ご相談ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

一般財団法人 国際情報化協力センター（CICC） 協力事業部：篠原

TEL : 03-5807-5041 E-mail: shinohara-kazuhiro@net.cicc.or.jp

URL : <http://www.cicc.or.jp>